

【令和3年11月30日（火）臨時議会】

●主な内容

【神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例】 賛成多数可決
川浦雅子 反対討論要旨

住民のいのちと暮らしを守り、コロナ対応で奮闘する公務労働者の労苦に応えていない。賃金改善に取り組むべきと考え反対。

【令和3年12月3日（金）～10日（金）、12月議会】

●主な内容

- 令和3年度一般会計補正予算 116,997千円 他
- ・子育て世帯への臨時特別給付金事業 93,136千円
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 4,554千円 等

【陳情1件】

「沖縄戦犠牲者のご遺骨が含まれる可能性のある沖縄本島南部からの土砂採取、使用をしないこと」を神川町議会として国へ求める意見書の採択についての陳情

- 陳情者 ・神川町 松田 美枝
・任意団体「IWA-JIWA」共同代表 古井 愛
審査付託 総務経済常任委員会 審査結果 採択



神川町議会は「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書」の提出を全会一致で可決！

かみかわ民報

2022年1月発行

No. 28

日本共産党

連絡先

0495 (77) 2248

川浦 まさこ

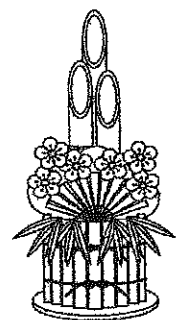
生活相談

お気軽に
ご相談ください



アジア太平洋戦争開始から80年。日本は戦争の後始末ができていない。その一つに遺骨の収容問題。戦没者数は240万人、そのうち遺骨収容したのは128万人、未収容の海没遺骨は約30万人。戦没者遺骨収集推進法（2016年）では、2024年までが「集中実施期間」であり、収集終了は困難です

※日本共産党の見解を紹介します



Pick up!

①神川町パートナーシップ宣誓制度施行日 令和4年4月1日施行

②F16米軍タンク投棄！もっと怒ろう！

③国の補正予算に過去最大の軍事費7738億円、来年度当初合計で6兆円超！そもそも補正予算とは自然災害等、「予算作成後に生じた事由に基づき特に緊要になった経費の支出」を作成するものであり、巨額の軍事費計上は財政法に反します。



裏へ続く

●事業者支援について

【川浦】ウッドショックと呼ばれる木材価格の高騰により、中小建設業者が危機に瀕しています。建設業は多くの業種が関わるため、地域経済への波及効果が強く、大きな問題です。半導体不足では、電線を扱っている小規模業者も仕事が減っています。手厚い支援が必要で、中小建設業の方に何となく、構造材を発注しても、納入期限は示されず、値段がいくらになるかもわからない、見積もりが出せないんだ、と言っておりました。アメリカや中国等の木材需要が増え、日本向け輸出量が減少したことが主な要因です。木材の国内自給率は2019年で約38%で、当面外材に頼る状況です。また、農業では、コメの生産も崩壊の危機に直面しているにも関わらず、政府はミニマムアクセス米を輸入しています。今一番必要なのは、生産を支える価格保証と所得保証で離農をくい止める事です。原油価格高騰による経費負担増も含め、神川町の基幹産業である農業へ、手厚い支援と後継者対策に力を入れて頂きたい。また、多くの個人事業主が加入する国民健康保険の保険料は、年間所得の2割近くを占める高額負担です。子どもの均等割軽減拡大をして頂きたい。

【町長】中小企業者等への支援に町独自で上乗せはなかなか厳しいので、結局は国や県に頼らざるを得ない。活用できる事業はできる限り中小業者、農業者への支援に結び付くものを取り入れていきたい。ウッドショックや燃料等の高騰によって、非常に困っていることは承知をしていますが、個々にどうなのかは調べきれないので国や県の支援策がありますという周知を図っていききたい。また、後継者対策に力を入れていききたい。特に町の特産である梨については地域おこし協力隊の制度を使って、ここ数年募集をかけています。

都会から地域へ移住をしてという観点も重要ですが、町内から後継者をぜひ育てたいと思います。また、国税は確かに均等割りの部分で人数が多ければその分だけ税額が高くなる、これは今の制度の中ではやむを得ないことです。その中でできる限りの形で減免制度を活用していきます。国民健康保険の保険料が県になっていて将来統一した保険料に進むことがある程度明らかになっていきます。今、神川町は全体の7割程度の保険料で低く抑えられています。

●病児保育について

【川浦】丹荘保育所新築に伴い、病児保育が設置されます。保護者は職場を休みづらい環境の中で働く方も多く、また、子どもは、発熱、咳、鼻水等の回復には数日もかかるケースもあるため、仕事を休めない時の支援が必要であり、保護者の切実な願いです。しかし町の設置する「病後児保育」は、これらの内容とは異なるようです。保護者のニーズに対応できる環境作りをして頂きたい。食物アレルギー等についても、入園前の説明を大事にし、協力を得られる対応をしていただきたい。また、保育が多様化する中で、保育の質を保つには保育士の安定した働く環境が必要です。正規保育士を増やして頂きたい。

【町長】丹荘保育所の中に、新たに病児保育の保育室を設けるのはある程度一歩進んだと思っております。ただ、病後児保育ができるからと言って、病中の子供たちを見ることはまだ不可能です。保護者の方々に内容を周知しないと勘違いをされることもありまので、できるだけ早く利用案内を準備します。病後児保育は看護師一名あては保育士を増員という形をとっていますので、万全を期したいと思っております。



ただ、例えば熱があるから、仕事を休めないから預けたいといったときに、その後の状態が悪化した場合に保育所の責任、また、保育士の責任となってしまうのは保育士やあずかった保育所が困りますので、保護者とよく相談して熱があつたときには医者にみてもらうのが先決だと思います。その後で微熱だから大丈夫だろうというところで医師の判断があれば保育所でもあずかれると思います。けれども、保護者と保育所で大丈夫だろうという安易な判断をすることは危険性があります。仕事が優先なのか、それとも子供の命が優先なのかを考えれば、当然自ずとわかって頂けるのではないかと思います。また、アレルギーは適切に対応しなければ生命に危険があることもありますので保護者の協力もと保育所全職員で情報共有や共通理解を図りながら組織的に対応する必要があります。また、正規保育士も計画的に雇用していきます。

●セルフ

ネグレクトについて

【川浦】何らかの生活のしづらさ、生きづらさを抱えているのに、誰にも助けを求めない状態をセルフネグレクトといいます。自分ではどうすることもできない状況でありながら、他人の世話にはなりたくないという思いや、また、生活保護は恥だという偏見を自身の中にも持っていて、助けを求められない状況もあります。最悪の場合、孤独死に至る事もあり、緩やかな自殺と呼ばれる場合もあります。外見から判断できない、つらい健康状態の方や社会的弱者、少数派や生活保護への偏見、パッシングは、弱い立場の人を攻撃し自己責任を迫る国の政治にも責任があります。困ったときは相談していいんだよ。政治の責任で、住民の命と暮らしを守りますという強いメッセージが必要です。

コロナ禍や、インターネット上での誹謗、中傷等も加わり、以前にも増して、生きづらさを抱えた方の早期発見、支援が必要です。対策に力を入れて頂きたい。

【町長】社会とあまり関わりを持たないという方がいるのは承知しており、例えば最悪死に至るようなことになっては行政としても大変なことですので、できる限り、は住民の方々に周知をしていきます。大切なのは、地域のコミュニティで個人的な中身までは知る必要はないですが、関心をもっていたく事が必要ではないかと思えます。本人からの相談でなくても近所の方から、あるいは保健センターや地域包括センターに相談して頂けるような状態を作っていく、また、訪問等、ライフステージに応じた効果的な支援の強化を図っていきます。

◎ひとこと◎

自分らしく
生きる

